

笠 栄 会

質問者 メンバー 大石 益之 妹田 英博 尾 妹 博之

平成23年度予算編成の方針について

議員 本年度、市民意識調査アンケートを実施したが、その結果を予算編成にどのように反映するのか。

市長 市民意識調査の結果から、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い課題を分析し、それらの事業を強化領域として指定して、重点的に事業を実施することとしている。今年度の調査については、分析結果を平成23年度の予算編成に反映させることとしている。

機構改革について

議員 さらに人的資源を集

中して企画立案力を上げることが政策実現に向けて必要だと感じるが、現状をどのようにとらえているのか。

市長 本年10月には、地域住民と行政とのパイプ役として、地域担当職員制度を導入して、地域住民と協働で、さまざまな行政課題に取り組み体制の整備を行うこととしている。この制度は、地域の皆様と一緒に行政課題の解決に取り組む過程を通して、職員の企画立案能力を高めることにつながるものであり、人材育成の観点からも期待している。

人的資源を集中することの一つの方法であると思うが、簡素で効率的な執行体制が求められる中で、組織全体が円滑に機能することも必要であるので、効果的な人員配置については、全体の人員体制の中で検討していきたいと考えている。

広域行政について

議員 今後、市民の満足度

を上げるためには、さまざまな業務について効率的な運営が求められる。そこで、広域連携についての現状と必要性、課題をたずねる。

①産業振興・観光について。
②学校教育・子育て支援について。

市長 ①産業振興については、井笠地域雇用対策推進協議会の中で、地域産業の動向及び雇用情勢について情報の提供・交換を行っている。各企業の情報提供が行える環境や、企業連携ができる環境づくりをしている。②観光については、井笠地域は有望な観光資源があるが、十分に活用されていない状況にある。このため、3市2町で連携を図りながら、担当者会議を開催し、観光資源の発掘をしていく。課題は、観光に対する基礎的な心構えや技術習得、地域資源の発掘、観光ルートの設定など山積している。

②学校教育については、研

究会や人事交流で連携している。

子育て支援については、保護者の中には勤務地の関係から市外の保育所へ子どもを入園させたいという要望をお持ちの方もおられる。周辺自治体との連携を図りながら、広域保育制度の導入について検討していきたい。

公明クラブ

質問者 メンバー 小 山 明 正 金 藤 照 明

エコツーリズムの取り組みについて

議員 エコツーリズム推進法が平成20年4月に施行されている。エコツーリズムを推進して笠岡をもっとアピールし、交流人口を多く受け入れ、活性化につなげてはどうか。

市長 観光プログラムの開

発、開発案内者の育成、旅行者・地域住民・観光業者・行政などの連携が重要である。また、課題もそれを進めていく上においてあるわけである。関係機関と協議しながら、今後実施に向けて検討していきたいと考えている。

「新しい福祉」について

議員 心の病気について。国民病とも言われているうつ病は、急増している。年金・医療・介護など、従来の社会保障制度の枠組みとは異なるもう一つの新たな福祉政策の展開が求められていると感じる。そして、この病気に付随した社会的な心の病気では、DV被害・児童虐待・高齢者の孤独死の問題など見えにくい心の病気への対応策が、新しい福祉の視点として重要と考えるが、市内の現状と対応についてたずねる。

市長 心の健康づくりにつ